

金沢

いきいきシニア通信

Vol.9 (平成27年9月発行)



いきいきシニア通信では、すでに地域で活躍されているシニアの皆さんや、区内で活動している団体を紹介いたします。今回は「横浜映画ボランティアクラブ」の活動内容と、インタビューを紹介いたします。

活動の主旨

映画設備・映写技術・映画ソフトがない福祉施設に自家用車で映画機材を持ち込み、施設を映画館の様にします。上映を希望する福祉施設から依頼があれば、日時・上映する映画を決め、上映準備から上映終了まで実施します。約束の日が、雨・台風・雪の日であっても厭わず、上映します。

グループの詳細

団体名 : 横浜映画ボランティアクラブ
代表者名 : 板垣 勸二
設立 : 1993年8月
活動開始 : 1995年8月上映開始
(福祉施設「ふじ寿か園」第1回目上映を果たす。)
活動拠点 : 〒236-0055 横浜市金沢区片吹47-16
TEL・FAX : 045-782-9056
会員数 : 現在9名
年会費 : 入会金なし、100円/月
活動費 : 年会費+助成金30,000円(区社協)
上映時間 : 午前、午後、夜などは、相談に応じます。
活動地域 : 横浜市(金沢区)を中心に活動。
活動施設 : 幼児から高齢者の各福祉施設・介護施設等
入場料 : 無料
(上映施設への入場は施設規則を遵守)
映画ソフト : 邦画・洋画・アニメ オリジナル合計730本

平成26年度の活動内容

活動地区 : 横浜市内2区
19施設
上映回数 : 19回
利用者数 : 703名



横浜映画ボランティアクラブの板垣代表にお話を伺いました。

Q1: この活動を続ける上で大事にされている心掛けとは何ですか？

上映の約束をしたら上映場所に行き、必ず上映します。その為に事前の準備・移動・機材運搬そして、上映を1人でやっています。複数のスタッフで手分けしてやれば、それらの作業は楽なんですが、万一、片方のスタッフの車が事故にあった場合、上映予定時間が遅れるか、又は、中止になってしまいます。せっかく楽しみにしている観客や施設の方々がっかりさせるのが嫌なんです。それが残念で、80歳になっても、現場で、1人でやっています。

Q2: 好評だった映画作品は何ですか？第3位まで教えてください？

鑑賞される方が、高齢者の方(70歳前後)が多いので、洋画よりも年代物の邦画です。

1位: 愛染かつら(上原 謙・田中絹代)

2位: 二十四の瞳(高峰秀子)

3位: 旗本退屈男(市川右太衛門)

※他に片岡千恵蔵や近衛十四郎の時代劇(チャンバラ)



※最後にいきいきシニアへメッセージをお願いします。

定年を間近に感じた時『自分自身のセカンドライフを如何に楽しくすごせるか?』を考える。親、兄弟、一族の先祖から受け継いだDNAにとらわれず、何も出来ないと思えない事が大事です。私は次男だったので、縛られないで、『何が出来るのだろうと』しか考えませんでした。ですから、一番好きな映画をいろんな人に見て頂けるボランティアを思いついたんです。みなさんもご自分の健康管理をしっかりして、人に喜ばれるボランティアを考えましょう。

私は、これからも『映画を楽しみながら見てくださる皆さん』に励まされながら頑張ります。



次回上映予定

『ホーム・スイートホーム2 日傘の来た道』

上映時間: 9月9日(水) 13:30~

上映場所: 老人福祉センター晴嵐かなざわ(いきいきセンター金沢4F)

編集後記

高齢者や身体・知的障害者の皆さんに喜んでもらうために映画の機材の準備・運搬・設置・映画上映と孤軍奮闘されています。9名のスタッフに支えられているとはいえ、このバイタリティは私自身も見習いたいと思いました。今後の益々のご活躍を期待しております。 **ファイト!!**

